



「三和小学校コミュニティの活動」



コミュニティ・スクール設置努力義務化に伴い、香芝市内すべての小・中学校に学校運営協議会が設置されました。本校も令和2年度より学校運営協議会を設置した「コミュニティ・スクール」としてスタートしています。

以前は地域の代表の方による「学校評議員会」を置き、学校の教育計画やその実際について子どもたちの様子も見ていただきながら、ご意見等をいただいております。現在ある学校運営協議会は、学校評議員会よりもさらに一歩踏み込んだ形で、保護者・地域住民の方々、共に考え、共に行動し、共に課題を解決していく組織です。香芝市教育委員会からの委嘱を受けた7名の会員の方によって運営していただいております。

さらに、学校運営協議会は、学校コミュニティの活動の核にもなっており、地域と学校が一体となった教育活動を進めています。今まで以上に地域の貴重な人的・物的財産を活用させていただき、子どもたちの学びの幅を広げていきたいと思っております。また、地域の人とつながることによって、子どもたちの安心・安全な生活をつくっていくこと等を目指していますので、是非多くの方にご参加いただきたいと思っております。

現在、コロナウイルス感染拡大収束の見通しが立たない中、地域の方々への呼びかけが思うようにできない状況ですが、できることから一つずつすすめていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



草引きボランティア

今年の夏は雨の日が多かったせいか、二学期が始まった頃は、運動場が一面の雑草におおわれていました。そこで美化委員会から業間の時間に草引きボランティアの呼びかけをおこなったところ、多くの人が参加してくれました。他にも体育の授業の前後や掃除の時間に、学年や学級で取り組んでくれたり、中には個人で自主的に草引きをしてくれている人もいました。その結果、今ではほとんど雑草がなくなりました。さらに9月21日にはPTA役員の皆様で、運動場の美化作業をしていただきます。10月1日の運動会に向けて、みんなで力を合わせてがんばります。



いのちの学習プログラム



2年生が春の遠足で行った「うだアニマルパーク」で実施している「いのちの教育プログラム」では、私たちと動物との関わりに気づき、動物にも感情や要求（ニーズ）があるということ、動物の「いのち」が私たち人間と同じであることを感じそれぞれの動物の「いのち」がよりよく生きるために私たちがどのような責任を負い、果たすべきなのかを考えます。今年度モデル校に選ばれた本校では、9月5日に講師の方に来ていただき、2年生が2回目の「いのちの授業」を受けました。

学校用務員の西川さん

学校用務員の西川さんのことを知らない子はいないと思います。校内の花壇に咲く花も、菜園に豊かに実る野菜も、西川さんのおかげです。校舎の修理も植木のせんでも、何でもこいです。そしていつもみんなに声をかけてくれます。教室での授業では聞けない楽しい話を、まだ西川さんとしたことのない人は、ぜひ話しかけて、いろんなことを教えてもらってください。

